

2学期終業式「家族のために」12/23

今日で、2学期が終了します。みなさん、とても頑張って、とても楽しい2学期を過ごせたと思います。そして、明日はクリスマスイブ。サンタさんには、どんなお願いをしましたか？ クリスマスプレゼントも楽しみですね。ワクワクします。

でも、ちょっと不思議に思います。サンタさんは、どうして世界中の子供たちにプレゼントを配るのでしょうか？ 子供たちが好きだから？ 子供たちの喜ぶ顔が見たいから？ 分かりますか？

実は、サンタさんは誰かに頼まれて、お金をもらって、プレゼントを配るというお仕事をしている、ということはないですよね？

何のために？ と考えたとき、ちょうど今、6年生が「働くことの意義」、「なぜ働くのか？」ということを読んでいたので思い出しました。6年生は、もう、その答えを見付けたでしょうか？

私なりの考えをお話します。私は、働くということと、生きるということは同じだと思っています。私にとって「なぜ働くのか？」は、「なぜ生きるのか？」と同じ意味です。

では、人はなぜ生きているのでしょうか？ 楽しいことをするため？ おいしいものを食べるため？ それだけではないと思います。

私の答えは、「人のため」です。自分が楽しいとか、やりたいことをやるとか、お金持ちになるとか、自分だけのためではなく、『人のために何かができたら、人のために生きることができたら、どんなに素晴らしいことか』と思います。

ですから、「なぜ働くのか？」と聞かれたら、答えは「人のため」です。誰かのために何かをするということは、自分の時間が奪われて、損することではありません。『誰かのために何かができるということは、ほかのことでは味わえない特別な喜びで心がいっぱい満たされるのです。』（日野原重明著「君たちに伝えたいこと」より）

自分が生きている時間を、そんなふうに「人のために」使えたらいいなと思います。とてもむずかしいことですが…。

今のお話をみなさんのことで考えてみたいと思います。

最近のことで言えば、丸池に氷が張りましたね。1年生は初めて見る丸池の氷にもう夢中でしたね。氷を叩いてみたり、割ってみたり、池の中や外に投げて遊んでいる子もいました。とっても楽しかったと思います。

でも、それは誰が楽しいのですか？ 遊んでいる自分ですね。自分だけが楽しいのです。周りの人は迷惑です。池の外に投げた氷で滑ってしまうかも知れません。池の中の生き物が驚いて死んでしまうかも知れません。氷で遊んでいる時、そういうことを考えましたか？

もちろんダメなことだと分かりますね。まだ1年生だからダメなことが分からないのかなとも思いましたが、同じ1年生でも「大丈夫かな？」「いいのかな？」と考えたのでしょうか、「そういうことしちゃダメなんじゃないの」と、言ってくれた子もいます。その違いが、「自分のため」だけを考えているか、「人のため」を考えているか、ということです。もうすぐ2年生だから、分かると思います。

そして、次の日、同じように1年生が氷で遊ぼうとしたら、6年生が「ツンツン触るだけだよ」と優しく教えてくれていました。1年生は「あっそうだ」と気付いて遊ぶのをやめました。さすがだなあと思って、心が温かくなりました。

もし逆に6年生が、氷を割ったり投げたりして夢中で遊んでいたら、1年生が悪いことを真似してしまいます。それはあまりにも情けないですよ。1年生よりも2年生、2年生よりも3年生と、一步一步大人になっている富士見丘小のみなさんは本当に立派だと思います。

今日はお話が長くなりましたが、最後に、明日からの冬休み、「人のため」に過ごすのか、「自分のため」に過ごすのか、今のお話を思い出してほしいと思います。サンタさんはもちろん「人のため」ですね。

1年生が生活科で、家族をにっこりさせようと、「家族ニコニコ大作戦」に取り組んでいました。自分だけが楽しい時間がたくさんあってもいいと思いますが、**言われてからでなく、自分から「家族のために」、家族ニコニコ大作戦に、みんなで挑戦してほしいと思います。**自分も、家族も、楽しい年末年始を過ごしてください。

始業式、1月10日（火）、ニコニコ笑顔でお会いしましょう。